

# 義務教育学校推進室だより

令和元年9月10日 第31号

## 教育課程編成について



- 学校教育目標「自ら考え、正しく判断し、よりよく生きようとする人間性豊かな児童生徒の育成」（詳細は第23号参照）の実現に向け、「教育活動の重点」を設けました。そして、義務教育学校の特性を生かした教育課程が実施できるよう、「教育課程実施上の留意点」について検討しました。3校研修では、教職員がこれらについて共通理解を図った上で、3校児童生徒の実態に応じた教育課程の編成に取り組んでいます。

### 「教育活動の重点」

- (1) 主体的・対話的で深い学びを伴う学習活動を行う児童生徒を育成する。
  - ・ 9年間継続した実態把握を背景とする個に応じた指導
  - ・ 5学年から段階的に教科担任制を取り入れた専門性を生かした学習指導
- (2) 自己肯定感や自己存在感を実感させるとともに、思いやりのある児童生徒を育成する。
  - ・ 9年間継続した実態把握を背景とする適切な言葉かけ、賞賛、活躍の場の設定
  - ・ 相互に思いやりの心で接する場を設定した異年齢集団による交流
- (3) 健康安全を心がけるとともに、スポーツを楽しもうとする児童生徒を育成する。
  - ・ 家庭との連携をとおした学校内外における基本的な生活習慣や望ましい食習慣の指導
  - ・ 9年制の特性を生かした体育的行事等の工夫

### 「教育課程実施上の留意点」(一部抜粋)

- 確かな学力
  - ・ 各教科等ごとの9年間を見通した一貫性のある指導方針と各ステージにおける児童生徒の実態をもとにした計画的・継続的な指導を行う。
- 豊かな人間性
  - ・ 自己肯定感や自己存在感を膨らませるため、児童生徒一人一人にとってより多くの活躍の場が生まれるよう、各ステージごとの教育活動を工夫する。
- 健康・体力
  - ・ 健康で安全かつ規律ある学校生活を送る児童生徒を育成するため、9年間をとおした家庭との連携のもと、発達段階を踏まえた基本的な生活習慣の指導を充実させる。
- 学習指導
  - ・ 各教科の指導については、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら、児童生徒の主体的・対話的で深い学びを伴う学習活動の実現に向けた授業改善を行う。
- 生徒指導・教育相談
  - ・ 児童生徒が自己存在感を実感しながら現在や将来における自己実現を図っていけるよう、生徒指導に関する9年間継続した実態把握を背景とする「積極的な生徒指導」を実践する。
  - ・ 児童生徒一人一人の個性や特性を踏まえるとともに、受容的な対応で心により寄り添いながら、一人一人の心の居場所づくりを行う。
- 特別支援教育
  - ・ 児童生徒の個性や特性を共通理解し、学校全体で支援できるようにするとともに、可能な範囲で特別支援学級担任以外のより多くの教員が特別支援学級での授業に関われるようにする。
- 各種教育(安全教育、人権教育、キャリア教育等)
  - ・ 当該教育の目的、内容、方法を共通理解することにより、学校全体で的確かつ効果的な実践を行う。